Innovation in Motion TSUBAKI

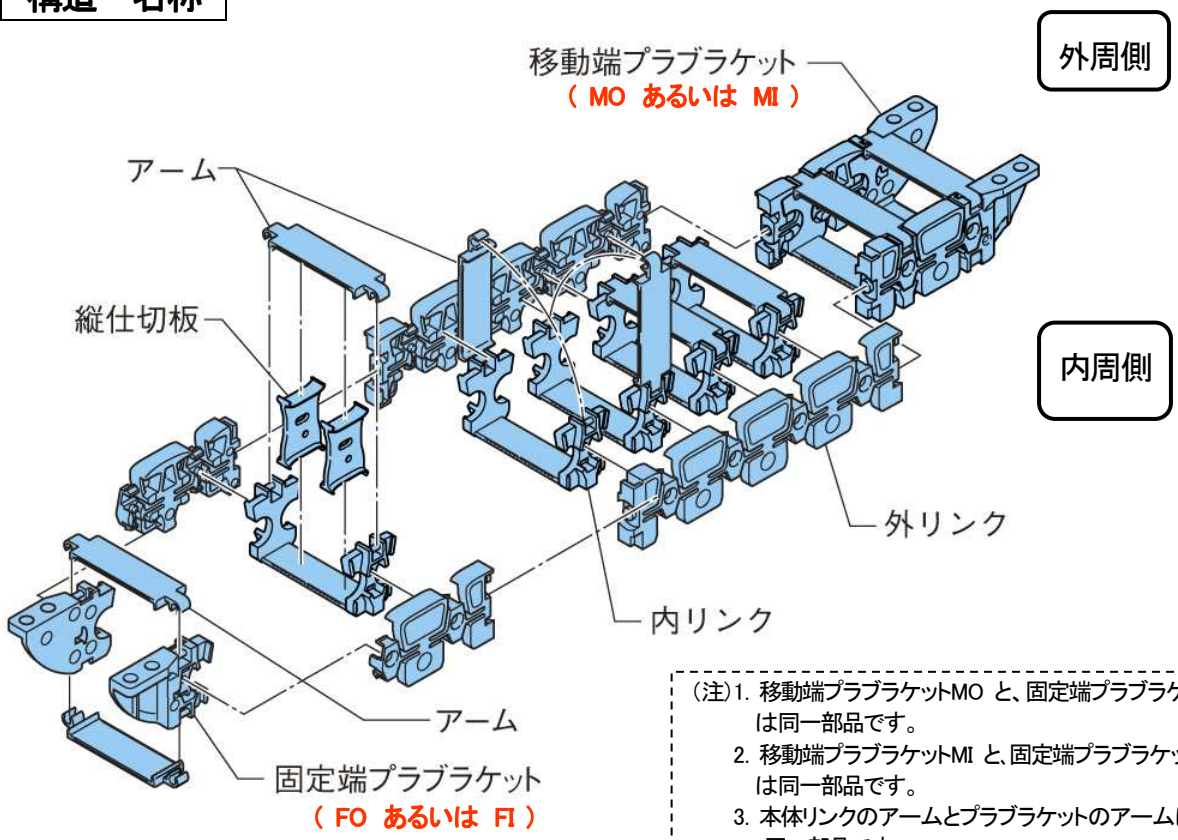
つばき　取扱説明書

ケーブルベヤ®

TKR15H22
（旧 TKR0150）

（注）作業の際には適切な保護具（安全眼鏡、手袋、安全靴など）を着用してください。

1 構造・名称

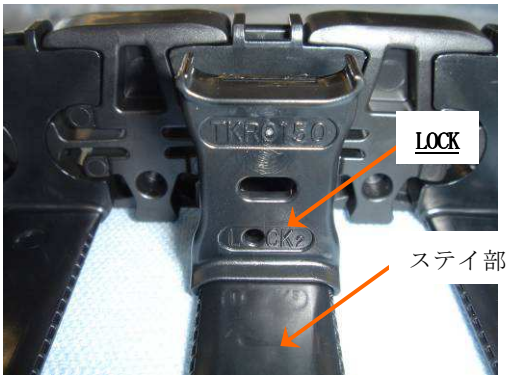


（注）1. 移動端プラブラケットMO と、固定端プラブラケットFO は同一部品です。
2. 移動端プラブラケットMI と、固定端プラブラケットFI は同一部品です。
3. 本体リンクのアームとプラブラケットのアームは同一部品です。

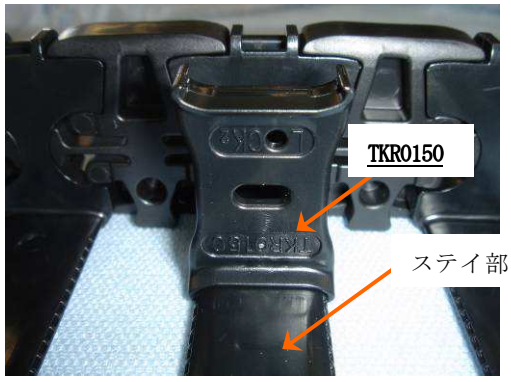
2 仕切板の取付け

仕切板は、ケーブル・ホース挿入時に取付けます。
注）仕切板は、内リンク２ヶ毎に取付けるため、１ヵ所に入る数量を確認ください。
（ブラケットのアームには取付けることができません。）

◎ロック取付
縦仕切板の「LOCK」刻印が入った方を内リンクのステイ部に取付けてください。



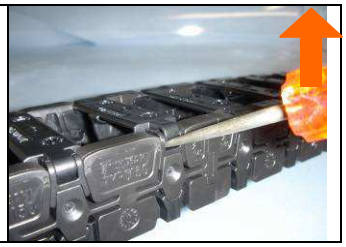
◎スライド取付
縦仕切板の「TKR0150」刻印が入った方を内リンクのステイ部に取付けてください。



3　アームの開閉・取外し

以下の手順にしたがって、アームを開閉・取外してください。
アームは左右どちらからでも開閉できます。

注）先端の大きさが幅3㎜以下のマイナスドライバーをご使用ください。

1）内リンクの側面のスキマにマイナスドライバーを差込んで矢印の方向にこじり、ロックを解除します。 2）アームを開いて軸を中心に回転させます。 3）アームが垂直になるまで回転させ、水平方向に引張って取外します。	

4　ブラケットの取外し（内リンクの取外し）

以下の手順にしたがって、ブラケットを取外してください。
内リンクも同様の手順で取外すことができます。
一つ（片側）のブラケットを取り外すのに、内周・外周の2ヶ所のロックを解除して取外します。

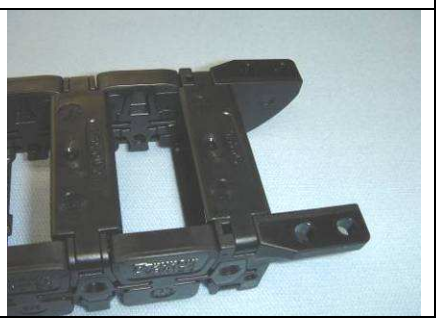
注）先端の大きさが幅3㎜以下のマイナスドライバーをご使用ください。

1）内周・外周のアームを取外し※、内周側のブラケットのスキマにマイナスドライバーを差込んで矢印の方向にこじり、ロックを解除します。	2）手順1）と同様に、外周側のロックを解除し、片側のブラケットを取外します。	3）手順1）・2）と同様に、もう一方のブラケットを取外します。

※ アームの取外し手順は3項（P.2）を参照ください。

5　ブラケットの取付け（内リンクの取付け）

以下の手順にしたがって、ブラケットを取付けてください。
内リンクも同様の手順で取付けることができます。

1）外リンクの外周側のフックをブラケットの外周側のスキマに差込みます。	2）外リンクの内周側のフックを押し込みながらブラケットの内周側のスキマに差込み、外リンクとブラケットを指で挟んで押し込むと、カチッと音がします。	3）手順1）・2）と同様に、反対側のブラケットも取付けてから、内周・外周のアームを取付けます。
		

6　リンクの短縮

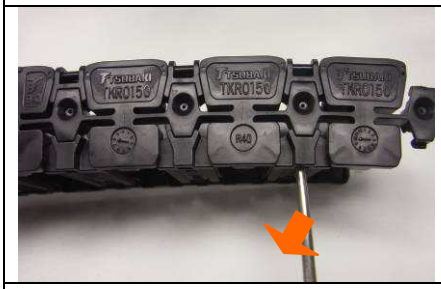
以下の手順にしたがって、リンクを短縮してご使用ください。

1）ブラケットの内周・外周アームと切断したい箇所の前後各3ヶのアームを取外します。
（取外し方法は、3項を参照ください。）

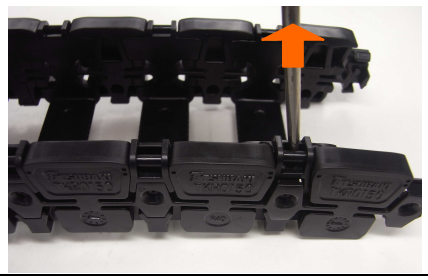
2）ブラケットを取外します。（取外し方法は、4項を参照ください。）

3）切断したい箇所の内リンクを取外します。

a）内リンクを取外すには、内周側の内リンクのスキマにマイナスドライバーを差込んで矢印の方向にこじり、ロックを解除します。

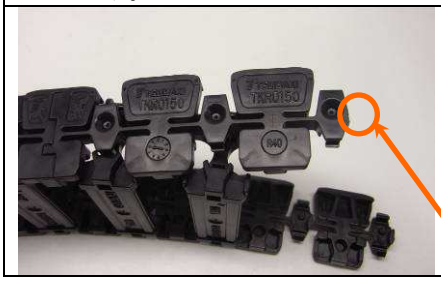


b）手順a）と同じ位置の内リンクの外周側のスキマにマイナスドライバーを差込んで矢印の方向にこじり、ロックを解除します。

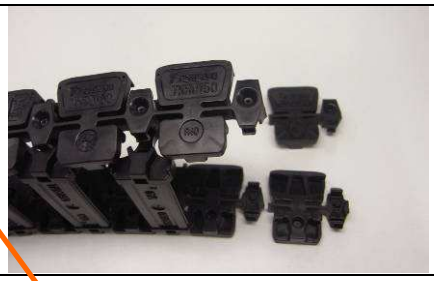


c）手順a）、b）と同様に、切断したい箇所の前後各3ヶのロックを解除し、反対側は切断したい箇所のロックのみ解除し、内リンクを取外します。

4）ニッパーやカッターナイフで下図の形になるように外リンクを切断します。



5）手順4）と同様に、反対側の外リンクも切断します。



6）内リンク、アーム、ブラケットを取付けます。
（取付け方法は、3項、5項を参照ください。）

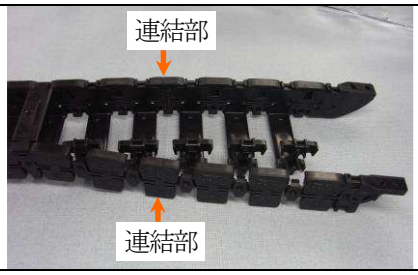
板バネ部の飛び出しは1mm以下に切断してください。

7　リンクの延長

以下の手順にしたがって、リンクを延長してご使用ください。

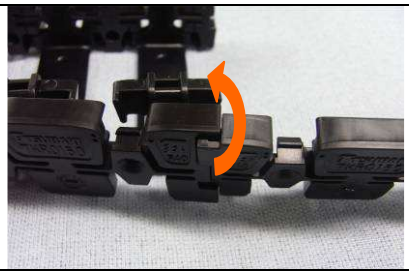
1）ブラケットの内周・外周アームとブラケットから最初の外リンクの連結部分までのすべてのアームを取外します。さらにその位置から奥の2ヶのアームを取外します。（取外し方法は、3項を参照。）

2）外リンクと内リンクのロックを連結部まで解除し、さらに2ヶの内リンクとのロックを解除します。
反対側も同様に、連結部までロックを解除し、内リンクを取外します。
（取外し方法は、4項を参照。）



3）外リンクの連結部をねじって回転させ、外リンク同士を分割します。
反対側も同様に分割します。

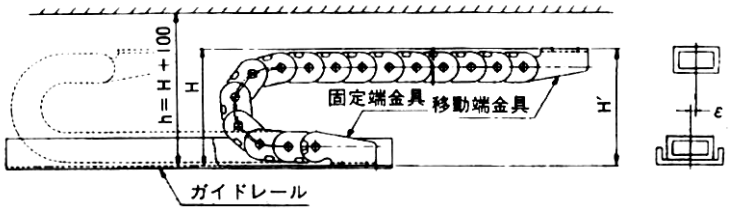
4）外リンクの連結部に延長用の外リンクを押し付けながら時計回りに90度回転させて連結します。
延長用の外リンクに手順3）で分割した外リンクを連結します。
反対側の外リンクも同様に連結します。



5）外リンクの外周側のフックを内リンクの外周側のスキマに差込みます。	6）外リンクの内周側のフックを押し込みながら内リンクの内周側のスキマに差込み、外リンクと内リンクを指で挟んで押し込むと、カチッと音がします。	7）手順5）、6）と同様に、片方の外リンクにすべての内リンクを取付けます。
8）手順7）と同様に、反対側の外リンクに内リンクを取付けます。 所定のリンク数になるように外リンクを切断します。（切断方法は、6項の手順4）を参照。）		
9）ブラケットを付替え、アームおよびブラケットアーム（内周・外周）を取付けます。（取付け方法は、5項、3項を参照。）		

8 取扱上の留意点

ケーブルベヤには、ご使用によっては、フリースパン部にふくらみやたわみがあらわれますが、当社能力線図内で選定されている場合は、使用上問題ありません。



1．機械装置の移動端取付高さ（H'）は、ケーブルベヤの高さ　H＋（10～30）　としてください。
2．ケーブルベヤの空間高さ（h）は、H＋100　としてください。
3．ガイドレールを取付けてください。
4．移動端ブラケットと固定端ブラケットの取付面誤差（ε）は、6㎜以下にしてください。
5．ケーブル・ホースは屈曲性、耐摩耗性に優れた移動用のものを使用してください。
6．ワイヤーブレード外装のものは、いたみやすいことがあるので、使用を避けてください。
7．ケーブル・ホースは積重ねて使用すると摩耗が生じやすいので、横に並べるか、横仕切板を使用してください。
8．ケーブル・ホースは長さに余裕をもってセットし、適正な長さに調整のうえ、両端部でクランプしてください。
9．ガイドレール内に異物があると、破損の原因になりますので取除いてください。
10．仕切板は部品送りといたしますので取付時に組み込み願います。

9 機械本体へ取付ける時の留意点

プラブラケットの取付面に凹凸があると、ブラケットが破損する場合もありますので、なるべく滑らかな平面に取付け願います。また、プラブラケットの取付ボルトを締めすぎると破損する場合もありますので下記推奨締付トルクにて締付け願います。

ボルトサイズ	推奨締付トルク
M4	0.6N･m